

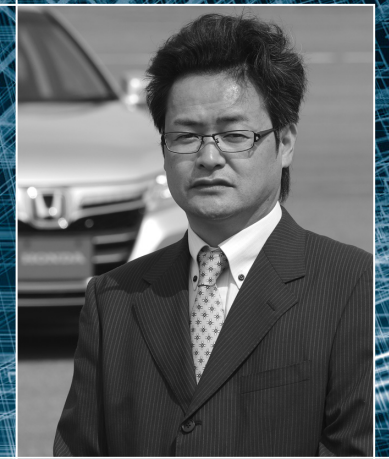
開発責任者から

走る、曲がる、止まる。クルマの走行の基本となる全てが
ドライバーの操作に対してリニアで、乗り心地や静粛性に優れ、
日常走行からロングドライブまで、あらゆるシーンの移動を存分に楽しむことができる——。
「アコード」が歴史の中で求め続けてきたその魅力を、革新的なまでに高めるには、どうすべきか。
私たちは、このクルマを構成する要素を徹底的に磨き上げるとともに、
パワープラントの「電動化」を手段として選択し、開発に取り組んできました。

アッパーミドルセダンに適した新たなハイブリッドシステムとして、様々な可能性の中で最後に辿り着いたのが、
今回のアコード ハイブリッドに搭載している「SPORT HYBRID i-MMD」です。
低速から高速までの全域でモーターが車輪を駆動し、エンジンでの駆動は高速クルージング時に
限定するというこのシステムは、高い環境性能を実現すると同時に、
これまでにあらゆるセダンが理想としながらも、エンジンとトランスミッションを
用いる限りは成しえなかった、爽快な走りの楽しさをつくり出すことができました。

前例の無いものだけに開発には困難も伴いました。しかし、ハイブリッドカーやEV、
燃料電池電気自動車などの開発を通じてこれまでに培ってきた電動化技術を結集させた上で、
自らの手で技術水準の向上を図り、かつてない高効率のハイブリッドシステムを完成。
「アコード」の魅力をこれまでと異なる次元へと高めることができたと自負しています。

私たちが自信を持ってお送りするこの一台は、きっと「セダン」の価値、
そして「クルマで移動すること」のよろこびを多くの方に
再発見していただくための大きな力になるはずだと信じています。
アコード ハイブリッド。ぜひ多くの方にお楽しみいただきたいと思います。



アコード ハイブリッド 開発責任者

二宮 亘治

(にのみや こうじ)

1997年本田技研工業(株)入社。
(株)本田技術研究所 シャシー研
究部門配属後、2008年アコード、
ACURA TSXなどのシャシー研究
PLを務め、今回、アコード ハイブ
リッドのLPLに就任。
趣味はゴルフ、オフロードバイク。愛
車はN BOX、CRF250R。